



2020 年 9 月 16 日
東日本旅客鉄道株式会社

2020 年度設備投資計画について

JR 東日本では、「変革 2027」実現に向けて、収益力の向上に資する成長投資、業務改革や働き方改革に資する重点投資は着実に実行する一方、維持更新投資については新型コロナウイルス感染症拡大による減収などに鑑み、安全の確保を前提にしながらコストダウンを行ったうえで、2020 年度の設備投資計画を策定しました。

設備投資額は、連結では 2019 年度実績比約 300 億円減の 7,110 億円、単体では 2019 年度実績比約 670 億円減の 5,510 億円を計画しています。

○ 主な設備投資の内容 ※一部既に使用開始の内容を含む。

信頼・安全

- 大規模地震対策や踏切事故対策、運転保安装置整備拡大などの**安全対策**を着実に進めます。
- 駅ホームの安全性向上に向けて**ホームドア整備**を進め、山手線では東京駅、京浜東北線では品川駅（大宮方面）・東京駅・与野駅など、中央・総武緩行線では信濃町・千駄ヶ谷駅などにおいて使用開始します。なお与野駅には「スマートホームドア®」*を導入します。
※ 「スマートホームドア®」は、JR東日本メカトロニクス㈱の登録商標です。
- 防犯カメラの設置拡大や侵入防止柵の整備、駅・列車内・車両留置箇所・電気関係設備・線路沿線などの**鉄道セキュリティ向上の取組み**を継続して進めます。
- **技術革新**に積極的に取り組み、ワンマン運転の拡大など、**生産性向上や働き方改革**を目指します。
- すべてのお客さまにとって、使いやすく、わかりやすい駅を目指して、エレベーター、トイレ、案内表示などの**駅設備の改良**を進めます。
- 2019 年 10 月の台風 19 号により被災した E7 系については、2022 年度末までに復旧に向けた**車両新造**を進めます。
- 横須賀・総武快速線に E235 系を投入するほか、津軽線・五能線・奥羽本線に GV-E400 系電気式気動車車両、男鹿線に EV-E801 系交流蓄電池電車車両を投入します。
- 川崎火力発電所の設備を更新し、環境負荷の軽減や電力供給の安定性向上を目指します。

豊かさ・生活

- WATERS takeshiba（2020年4月メズム東京、オートグラフ コレクション、8月アトレ竹芝開業）、ホテルメトロポリタン川崎（2020年5月開業）、JR横浜タワー・JR横浜鶴屋町ビル（2020年6月開業）が開業したほか、JR川崎タワー（2021年度開業）の実現に向け着実に工事を進めるとともに、品川駅・渋谷駅・東京駅などの大規模ターミナル駅の開発を進めます。
- JR仙台イーストゲートビル開発や地域連携ICカードの開発など、地方中核都市の魅力づくりや地域交通機関へのICカード導入拡大に向けた準備を進めます。
- 「ホテルメトロポリタン山形南館（2020年11月開業）」のほか、駅ビル・エキナカ店舗のリニューアルなどを推進し、沿線価値の向上を目指します。
- 中央快速線へのグリーン車導入（2023年度末）に向けて着実に工事を進めて、お客さまの利便性向上と沿線価値の向上を目指します。
- シームレスに移動できる次世代移動サービス MaaS の実現に向け、JR 東日本アプリによる情報提供の充実を図るとともに、Ringo Pass・観光型 MaaS などの開発を継続して進めるほか、話せる指定席券売機などの新たなサービスの提供を進めます。

社員・家族の幸福

- 女性社員の活躍フィールドを拡大するための設備を継続して整備するとともに、職場環境の改善や寮整備などを進めることで社員の働きがいを向上し業務改革を進めます。

○ 設備投資額

2020 年度 設備投資額（連結）（単位：億円）

	2020 年度計画	2019 年度実績
輸送サービス	4,530	4,707
生活サービス IT・Suica サービス	2,580	2,698
合 計	7,110	7,406

2020 年度 設備投資額（単体）（単位：億円）

	2020 年度計画	2019 年度実績
合 計	5,510	6,180

2020年度 グループ設備投資計画概要(主な件名)

信頼・安全

○「究極の安全」の追求・リスクマネジメント・コンプライアンス徹底

- ・大規模地震対策
- ・ホーム安全設備整備(ホームドアなど)
- ・ATS-P、ATC、ATACS整備
- ・踏切障害物検知装置整備
- ・セキュリティ対策
- ・機械設備技術研修センター
- ・車両更新(GV-E400系など)
- ・線路モニタリングシステム
- ・ワンマン運転設備整備



大規模地震対策



(駅構内防犯カメラ)



(車内防犯カメラ)

セキュリティ対策



機械設備技術研修センター



車両更新(GV-E400系)



ワンマン運転設備整備



(ホームドア)



(CPライン)

ホーム安全設備整備



災害復旧(E7系新造)



車両更新(横須賀・総武快速線 E235系)



交流蓄電池電車新造(EV-E801系)

○サービス品質改革

- ・駅改良・駅設備整備(エレベーター・トイレなど)
- ・首都圏電気設備強化

○地域社会への貢献

- ・台風・豪雨災害線区復旧
- ・駅自由通路・橋上化整備

○地球温暖化防止・エネルギー多様化

- ・車両更新(横須賀・総武快速線 E235系)
- ・交流蓄電池電車新造(EV-E801系)
- ・発電所設備更新
- ・太陽光発電



(原宿駅)
駅改良

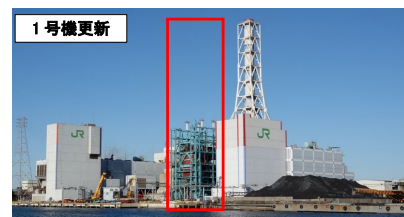


(エレベーター)



(多機能トイレ)

駅設備整備



発電所設備更新(川崎火力発電所)

※複合サイクル発電方式(高効率化)

※天然ガス使用(環境性・供給安定性向上)

豊かさ・生活

○くらしづくり・まちづくり

- ・品川開発プロジェクト(第Ⅰ期)
- ・JR横浜タワー・JR横浜鶴屋町ビル
- ・JR川崎タワー・ホテルメトロポリタン川崎
- ・JR仙台イーストゲートビル
- ・WATERS takeshiba
- ・グランスタ東京
- ・日比谷 OKUROJI
- ・ホテルメトロポリタン山形南館増築

○「シームレスな移動」の実現

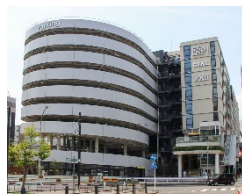
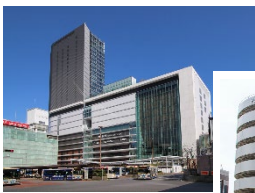
- ・中央快速線グリーン車

○Suicaの共通基盤化

- ・地域連携ICカード

○データ分析などによる新たなサービス提供

- ・MaaS
- ・JR東日本アプリ
- ・Ringo Pass
- ・話せる指定席券売機



JR横浜タワー・JR横浜鶴屋町ビル



中央快速線グリーン車



地域連携ICカード



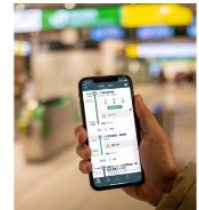
JR川崎タワー・ホテルメトロポリタン川崎



JR仙台イーストゲートビル



MaaS

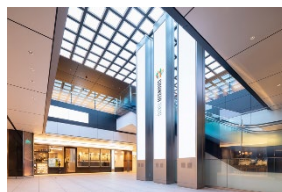


Ringo Pass

MaaS・JR東日本アプリ・Ringo Pass



WATERS takeshiba



グランスタ東京



品川開発プロジェクト
(第Ⅰ期)



日比谷 OKUROJI



ホテルメトロポリタン
山形南館



話せる指定席券売機

社員・家族の幸福

○仕事の高度化・活躍フィールドの拡大・お客さまのより近くでの創意工夫

- ・職場環境整備
- ・女性社員設備整備
- ・乗務員区所再編
- ・支社ビル・寮整備



職場環境整備



支社ビル整備



寮整備